

ドイツで発見されたプレシオサウルス類の化石のお話

市ヶ谷の堀にいる水鳥もだいぶ減ってきましたね。サクラの木の下に多いよ
うに見えるのは、花びらを食べていたりするのでしょうか？暖かい日が続いて
いるので、今週末にはサクラはかなり散ってしまうのではないかと思います。
サクラ以外にも春らしい花があちこちで咲いているので、ポケット植物図鑑や
スマホを片手に散歩してみるのも楽しいかもしれませんね。

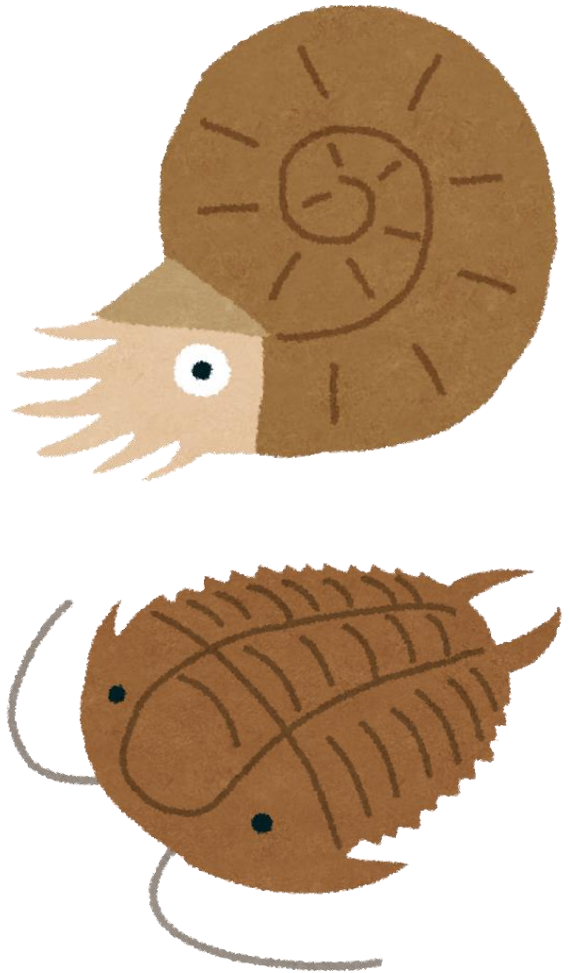
さて、今回は4/7のニュースを取り上げたいと思います。今年に入ってから、
ドイツでプレシオサウルス類の新種の化石が発見された、というニュースです。

恐竜が好き、という人は知っていると思いますが、プレシオサウルス類はテ
ィラノサウルスなどが生息していた「白亜
紀」の海に生きていた爬虫類の仲間、巖
密には恐竜ではありません。長い首と4枚
のヒレ(手足がヒレになっている)を持つ首
長竜というグループに属していて、日本産
のものでは福島県いわき市で発見されたフ
タバズキリュウが有名です。



フタバスズキリュウは首などを除き、全身の約70%の骨が残っているという、とても保存状態の良い標本ですが、今回発見された標本は、全身がほぼ完全に残っているというさらに素晴らしいもののようです。まだ成体(大人)になりきっていない個体のようですが、だからこそわかる事もたくさんありそうですね。今後の研究が期待されます。

古生物は現在も生息している生物に比べると研究に使える標本はどうしても少なく、化石はその中でも重要なものの1つです。三葉虫やアンモナイトなど、特に重要なものについては中学入試の理科でも取り上げられます。ティープロでも、授業で化石標本をお見せするチャンスがありますし、4年生では国立科学博物館にフタバスズキリュウの標本を見学に行く授業があります。これを読んでいる4年生以下の生徒さんたちは、楽しみにしていて下さいね。



参考：

<https://karapaia.com/archives/500316.html>

(今回取り上げたニュースのページ・記事のもとになった発表 (英語) へのリンクもあります)



<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%97%E3%83%AC%E3%82%B7%E3%82%AA%E3%82%B5%E3%82%A6%E3%83%AB%E3%82%B9>

(Wikipedia のプレシオサウルスのページ)



<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%95%E3%82%BF%E3%83%90%E3%82%B9%E3%82%BA%E3%82%AD%E3%83%AA%E3%83%A5%E3%82%A6>

(Wikipedia のフタバスズキリュウのページ)

